

平成24年度決算事務事業評価資料(H25.9審査)

別紙4

					担当課	高齢福祉課
一般会計		款	民生費	項	社会福祉費	目
老人福祉費						
対象事務事業名	地域包括ケア推進事業				施策概要	101ページ
目的	事業の目的は何か		高齢者が住み慣れた地域で24時間365日安心して生活できる環境を整備し、「福祉・医療・介護・地域」が一体となった地域包括ケア体制作りを行う			
手法・活動実績	目的達成のために行った手法は何か		☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金支給 ☐ その他()			
	目的達成のために行った活動とその実績は何か		「高齢者見守り支援活動」や「いきいきサロンの開設助成」の市内全域での展開。高齢者の外傷予防の調査研究を行う「高齢者の安全を促進する実証事業」の10町(地区)での展開を行った。			
成果	目的に対する成果は何か		高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するための、地域包括ケア体制の確立に向けた基盤づくりが推進できた。			
コスト	事業に係る経費は		内訳	金額	説明	
			高齢者いきいきサロン整備事業	2,625,410	別紙(地域包括ケア推進事業経費内訳)のとおり	
			高齢者見守り支援事業	1,904,049		
			介護予防教室の展開を行うためのサポーター養成	1,100,000		
			高齢者の安全を促進する実証事業	1,820,000		
			介護予防事業拠点整備	8,109,000		
			介護予防介入による医療費の変化の検証	1,073,000		
			計	16,631,459		
	事業に携わった職員数は		0.2人 × 7,300,000 = ※	1,460,000		
		合計		18,091,459		
財源	上記経費に対する財源(特定財源のみ)は		内訳	金額	説明	
			府補助金	16,631,000		
			計	16,631,000		
課題・方向性	今後の課題は何か		地域包括ケアシステムの構築に向け、医療、福祉、介護、行政が一体となった連携を取るにあたり、地域住民も含めた理解と協力を得ると共に、住民主体の体制作りを行うことが課題である。			
	今後の方向性はどうか		地域包括ケア推進事業で得られた経験と資源を基として、上記に挙げた課題に対し、継続的な働きかけを行うと同時に、高齢者の健康維持の為に介護予防事業の推進を図っていくこととします。			

※職員の平均人件費を参考数値として示している

平成24年度 地域包括ケア推進事業経費内訳

事業の内容	事業経費
(継続事業・H23から) いきいきサロン開設助成事業(施設改修費・備品整備費の助成) ・事業内容 ・施設改修(手すり、段差解消、すべり防止床面改修、洋式便器へ取替え、引き戸などへ取り替え) ・備品整備(机、椅子、座布団ほか事業に必要な備品) ・実施主体 自治会等(補助)及び市 ・事業費 自治会等：改修 補助率1/2 上限300千円 5カ所 996,000円 備品 補助率1/2 上限100千円 12カ所 930,000円 市施設： 備品 健康器具他 699,410円 ・事業期間 平成23年度から25年度(予定)	2,625,410円
(継続事業・H23から) セーフコミュニティ高齢者見守り支援事業 ・事業内容 一人暮らし高齢者や高齢者世帯を地域住民が中心となり見守り支援を行う。 ・実施主体 自治会、地区社会福祉協議会(補助) ・事業費 見守り活動費：19団体 1,798,000円 研修会など 106,049円 ・事業期間 平成23年度から25年度(予定)	1,904,049円
(継続事業・H23から) 高齢者の外傷・事故予防研究プロジェクト ・事業内容 高齢者の日常生活の安全確保のため、外傷予防教室の展開を行う。 ・実施主体 亀岡市(委託) ・事業費 調査経費3,500円×511人=1,788,500円 消耗品 31,500円 ・事業期間 平成23年度から25年度(予定)	1,820,000円
(新規事業) 高齢者の外傷・事故予防研究プロジェクト医療費削減実証事業 ・事業内容 高齢者への介護予防事業介入に対する医療費の変化を測定する。 ・実施主体 亀岡市(直営) ・事業費 アルバイト⑤5,900円×116日=684,400円 消耗品 210,100円 作業用機器 ⑧9,250円×2台=178,500円 ・事業期間 平成23年度から25年度(予定)	1,073,000円
(新規事業) 高齢者の外傷・事故予防研究プロジェクト(筋力・認知総合教室モデル展開) ・事業内容 介護予防教室展開を行うためのサポーター養成講座を開設するための会場整備に関する費用。 ・実施主体 亀岡市(直営) ・事業費 備品購入費用 6,185,035円 委託(庁内LAN整備費用) 946,050円 役務(電話敷設委託) 407,993円 トレーニングマシン移設費用 150,000円 消耗品費 419,922円 ・事業期間 平成23年度から25年度(予定)	8,109,000円
(新規事業) 高齢者の外傷・事故予防研究プロジェクト(AGEサポーター養成講座・第2期) ・事業内容 高齢者の日常生活の安全確保のため、介護予防教室の展開を図るためのサポーター養成を行う。 ・実施主体 亀岡市(委託) ・事業費 講師料、実施関連器具等購入=1,100,000円 ・事業期間 平成23年度から25年度(予定)	1,100,000円
	計16,631,459円